



株式会社 アズジェント  
第12期 報 告 書  
2008年4月1日～2009年3月31日

# FINANCIAL HIGHLIGHT

## 財務ハイライト

### 期末決算

単位(千円)

経営成績	当 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	3,487,878	3,663,231
営業利益	242,678	145,135
経常利益	257,681	140,826
当期純利益又は当期純損失(△)	302,817	△161,794
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)(円)	7,669.18	△4,097.63

財政状態	当 期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)
純資産	1,148,697	841,568
総資産	2,193,760	2,097,335
1株当たり純資産額(円)	29,091.99	21,313.64

業績予想	第2四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	通 期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	1,634,000	3,800,000
営業利益	120,000	270,000
経常利益	120,000	270,000
当期純利益	138,000	270,000
1株当たり当期純利益(円)	3,495.00	6,838.04

(注) 本報告書中において百万円及び千円単位で表示している金額は、単位未満を切り捨てております。

## POINT

#### ■売上高対前年同期比4.8%減

昨年秋以降の急激な経済悪化の下前期比で減収

#### ■不採算事業の整理、円高による為替メリット等による原価率の改善により営業利益、経常利益とも前期に続き増加

#### ■業績予想

当社のコアビジネスであるセキュリティ商品に関連サービス、コンサルティングサービスの収益性を高めることにより、2010年3月期においては前期比8.9%・3,800百万円と増益の見込み

## 株主のみなさまへ

---

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今般、第12期報告書（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度の日本経済を取り巻く環境は、米国のサブプライムローン問題が深刻化したことから端を発し、昨年9月に米国大手証券会社が破綻して以降、世界的な金融危機が日本の実体経済にまで影響を及ぼしたことで、国内雇用調整や生産調整が加速化するとともに、倒産企業が相次ぐなど景気の一層の下振れ圧力が増した厳しい環境となりました。しかし一方で情報セキュリティに対する取り組みは、社会的責任を全うするために情報資産を適切に管理し、維持向上に努めることが企業の重要な経営課題となっております。

当社は平成9年の設立以来、セキュリティ商品の販売と関連するサービスの提供を事業の中核としながら、情報セキュリティ管理やそこから派生するリスク管理の分野等においても、研究開発とサービスの提供を続けております。

平成21年3月期においては、前述の通り経済環境の逆風が強まる状況でしたが、不採算事業の整理が平成20年3月期で完了したことや、中核事業であるセキュリティ商品の販売と関連するサービスの提供に経営資源を集中させたことで、営業利益、経常利益、当期純利益ともに大幅な増加となり、期首の計画を大きく上回る黒字転換を達成しました。

今後とも「セキュリティ」のキーワードのもと、一層の業容拡大と業績向上により企業価値の増大を実現し、株主のみなさまの信頼とご期待に沿えられるよう社業に邁進する所存でありますので、何卒、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長

杉本 隆洋

### 中期的な経営戦略

当社は、セキュリティ・ポリシーの策定・支援から個々のセキュリティ対策までを総合的に提供するセキュリティ・ソリューション・ベンダーです。セキュリティ関連商品の輸入販売及び関連サービスの提供と、自社商品の開発と製造及び販売の2つを経営の中心に据えております。今後もセキュリティ分野の事業展開に特化し、ファイアウォール等の既に広く認知されたセキュリティ対策商品に加え、次世代に訪れるニーズや技術を具現化するために、当社が持つ多様なノウハウを生かし、継続的な成長を実現し企業価値の増大を図るべく努力を重ねてまいります。以上の方針に基づき、①「既存セキュリティ商品による安定収益の確保」、及び②「セキュリティ・ポリシー事業」を当社の主要戦略と位置付け、それぞれ具体的な戦略を実施してまいります。また中期的な会社の経営戦略としては、現在の収益を支えるファイアウォール関連商品やその他のセキュリティ関連商品を一定収益基盤として確保しつつ、更なる成長の実現に向け、セキュリティ関連のサービス分野を充実させることにあります。

#### ① 既存セキュリティ商品による安定収益の確保

ファイアウォールは、セキュリティ市場の中で最大の市場規模となっており、今後も当社の重要な収益基盤となります。当社はCheck Point Software Technologies社製FireWall-1及びそれを内蔵するファイアウォール・アプライアンスの販売並びにサービスの提供に高い実績があり、販売代理店及びエンドユーザーからの信頼を得ております。販売代理店との良好な関係の継続と、販売実績を生かした既存顧客へのよりきめ細かなサービスを提供することにより、当社の位置付けをより強固なものとし当該市場で安定的な収益確保を図ってまいります。

#### ② セキュリティ・ポリシー事業

セキュリティ・ポリシー事業は自社開発のセキュリティ・ポリシー策定・運用支援ツール「M@gicPolicy CoSMO」及び関連コンサルティング、セキュリティトレーニングを販売、提供する事業です。

当該事業はISO27000シリーズとしてISO化された情報セキュリティマネジメントの認証制度（ISMS認証）を基盤とした事業で、当社はISMS関連のトレーニングにおいては、トップシェアを確保しております。当社コンサルティング事業と補完関係にある「M@gicPolicy CoSMO」は、組織のセキュリティ・ポリシーを策定し、マネジメントサイクルを経営陣、情報セキュリティ委員、従業員等とともに継続的に運用するためのツールとなっておりますので、「ISMS 認証取得を志す企業」「ISMSコンサルティング企業」のみならず、「ISMS 認証取得済み企業」に有効なプロフェッショナルツールです。

当該事業が提供するツール、コンサルティング、トレーニングにより、当社はセキュリティ市場において他社との差別化を図ることが可能になると考えます。「M@gicPolicy」の継続的な改良及び効果的な販売戦略の実施によって、新しい顧客の獲得とその他のセキュリティ商品及び関連サービスへの波及効果により、売上高の拡大を図り、当社の中核を担う事業に育て上げていきます。

## 当期の概況

### ①当期の概況

当事業年度の日本経済は、原油等原材料価格の高騰や米国サブプライムローン問題に端を発する全世界的な金融不安の影響を受け、急激に景気減速傾向に転じました。

ネットワークセキュリティ市場の動向としては、従来の基幹システムやネットワークの安全性を維持するものから、いわゆる個人情報保護法対策、J-SOX対応、ISMS対応などのリスクマネジメント分野への対応が本格化したことなどで、セキュリティ対策が多様化し、全般的な需要も高まりました。また対策分野の広がりだけではなく、セキュリティの維持、及び保守の継続需要もあり、インフラとしてのセキュリティ需要は急激な落込みにはいたっていないものの、下期に売上が伸び悩みました。そのような状況下、当社はファイアウォールをはじめ、迷惑メール対策商品やサーバー監視ツール等の各種セキュリティ商品の拡販に努めるとともに、イメージバックアップソリューション等の新しいセキュリティ商品の販売も開始いたしました。また、大企業ユーザーが求める迅速で質の高いテクニカルサポートやセキュリティ教育、コンサルティングサービスの拡充に注力いたしました。

## 次期の見通し

業績見通しにつきましては、世界経済の失速による消費財販売不振や円高の影響を受け企業収益の悪化とそれに伴う設備投資の減少が予想される状況下、当社は、コアビジネスであるファイアウォールを中心としたセキュリティ商品や関連サービスの提供をより強化することや付加価値の高いコンサルティング、及び付帯サービスの収益性を高めることにより、売上高は3,800百万円と前期比8.9%の増収を見込んでおります。

また、利益見通しにつきましては、営業利益、経常利益とも

### ②売上高分析

当事業年度の売上高は3,487百万円（対前期比4.8%減）となりました。これはファイアウォール関連商品を中心とした売上が、昨年秋以降の急激な経済環境悪化の下、企業のインフラ投資の延期による新規及びリプレイス需要の鈍化や、コンサルティング事業の受注小型化を主要因として前期比で減収したことが主要因となります。

### ③利益分析

当事業年度の利益につきましては、営業利益が242百万円（対前期比67.2%増）、経常利益が257百万円（対前期比83.0%増）となり、前期に続き増加いたしました。これは、不採算事業の整理や粗利率改善施策及び円高による為替メリット等による原価率の改善が主な要因となります。

投資有価証券を売却したことで売却損が発生したものの、前事業年度にて不採算事業からの撤退が完了したこと、また繰延税金資産の評価を見直したことにより繰延税金資産の回収可能性が増加したことで、当期純利益は302百万円（同△161百万円）と大幅な増益となりました。

270百万円、当期純利益は270百万円。前期比では営業利益では11.3%増、経常利益は4.8%増、当期純利益は10.8%減をそれぞれ見込んでおります。

なお、業績予想は当社が現時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断するデータに基づいて行っておりますが、作成に使用したデータは不確定要素を含んでいること及び当社を取り巻く経済環境や市場動向の変化が起り得る等の理由により、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

# FINANCIAL DATA

## 決算概要

### 貸借対照表 (要旨)

単位 (千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,794,004	1,592,279
固定資産	399,756	505,055
有形固定資産	191,865	218,559
無形固定資産	74,797	92,680
投資その他の資産	133,092	193,816
資産合計	2,193,760	2,097,335

単位 (千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	846,108	1,072,503
固定負債	198,955	183,262
負債合計	1,045,063	1,255,766
純資産の部		
株主資本	1,151,018	848,201
資本金	769,500	769,500
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	△323,681	△626,498
評価・換算差額金	△2,321	△6,632
その他有価証券評価差額金	△2,321	△6,632
純資産合計	1,148,697	841,568
負債純資産合計	2,193,760	2,097,335

### 売上高



### 経常利益

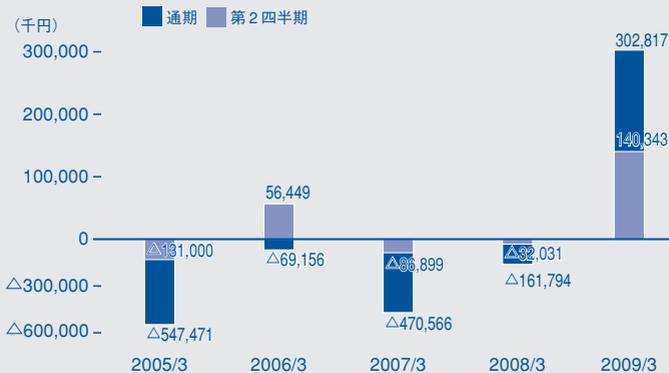


## 損益計算書（要旨）

単位（千円）

科 目	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)		前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
売上高	3,487,878	3,663,231		
売上原価	2,140,342	2,460,286		
売上総利益	1,347,535	1,202,944		
販売費及び一般管理費	1,104,857	1,057,808		
営業利益	242,678	145,135		
営業外収益	25,438	26,113		
営業外費用	10,436	30,423		
経常利益	257,681	140,826		
特別損失	39,835	299,804		
税引前当期純利益又は純損失（△）	229,120	△158,978		
法人税、住民税及び事業税	2,290	2,290		
法人税等調整額	△75,986	526		
当期純利益又は純損失（△）	302,817	△161,794		

## 当期純利益



## キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位（千円）

科 目	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	130
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	247,576
現金及び現金同等物の期首残高	536,620
現金及び現金同等物の期末残高	784,196

## 株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

単位（千円）

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
平成20年3月31日 残高	769,500	705,200	705,200	△626,498	△626,498	848,201
事業年度中の変動額						
当期純利益			-	302,817	302,817	302,817
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）						
事業年度中の変動額合計	-	-	-	302,817	302,817	302,817
平成21年3月31日 残高	769,500	705,200	705,200	△323,681	△323,681	1,151,018

	評価・換算差額等		
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計
平成20年3月31日 残高	△6,632	△6,632	841,568
事業年度中の変動額			
当期純利益		-	302,817
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）	4,310	4,310	4,310
事業年度中の変動額合計	4,310	4,310	307,128
平成21年3月31日 残高	△2,321	△2,321	1,148,697

## TOPICS

### トピックス

2009年5月

- チェック・ポイントがノキアのセキュリティアプライアンス部門との統合により新しいアプライアンス製品 **A** を発表。

2009年2月

- 迷惑メール対策アプライアンス「PineApp Mail-SeCure シリーズ」がバージョンアップし、マルチドメイン環境に対応。

2009年1月

- イメージバックアップソフト ShadowProtect 中小規模企業版の販売を開始。

2008年9月

- Check Point社より「Best Solution Partner」を受賞。

2008年9月

- 迷惑メール対策アプライアンス「PineApp Mail-SeCure シリーズ」 **C** ラインアップを刷新。

2007年12月

- ノンストップ環境で高速にシステムバックアップを行う「Shadow Protect」 **B** を販売開始。

2007年8月

- 迷惑メール対策アプライアンス「PineApp Mail-SeCure」がバージョンアップし、POP3プロキシ機能を搭載。

2007年3月

- 複数のセキュリティ機能を提供する統合型のセキュリティ・ソリューション「UTM-1」の販売を開始。

A

## チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジー社のセキュリティ技術とノキアのハードウェア技術が完全統合し、新たなアプライアンスが登場



IPアプライアンス (旧 ノキアIPシリーズ) は、チェック・ポイント社のセキュリティソフトウェアVPN-1とノキア社の「ノキアIPシリーズ」が、単一ソリューションとして完全統合されたセキュリティ・アプライアンスです。長年、業界をリードするセキュリティ・ゲートウェイとして多くの企業で利用されている実績をもつとともに、今回の完全統合により利用しているユーザは、ハードウェア、ソフトウェアを意識することなく1つのメーカーよりサポートを受けることができます。

### 特長

- 高いパフォーマンスが必要とされる複雑な環境において、ファイアウォール、VPN、新入防御といったあらゆるセキュリティ機能を提供
- 小規模のネットワークから大規模ネットワークまで幅広いレンジに対応して様々な製品ラインアップ
- 業務の継続性とバランスの取れたパフォーマンスを確保するためのハイアベイラビリティ技術 (VRRP、IPアプライアンス・クラスタリング) を搭載
- ネットワーク環境に応じて選べる多彩なインタフェース・オプション
- PIM、RIP、BGP等広域なトラフィックタイプをサポートする高度なルーティング・プロトコルを搭載。
- 高度な管理ツールにより、インストール、設定の負荷を軽減

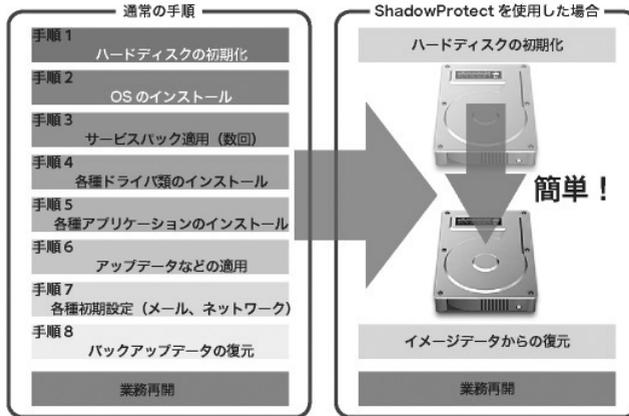


**Check Point**  
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.

B

# ShadowProtect

マウスクリックだけで簡単かつ高速にバックアップ、復旧が可能なイメージバックアップソリューション



## 特長

- OS、アプリケーション、データ及びそれらのコンフィグレーションを丸ごとバックアップ/リストア
- 超高速なバックアップとリストア
- サーバ稼働を停止せずにノンストップでのバックアップを実現※1
- 機器構成の異なる機種へのリストア
- VMware (仮想マシン) に対応
- バックアップ・イメージファイルの編集機能  
例：バックアップしたシステムのイメージファイルを「書き込み可」でマウントしウイルス検疫を行う等
- 差分バックアップ、増分バックアップ双方をサポート※1
- VSS※2サーバアプリケーションに完全対応
- バックアップのスケジューリング機能※1
- リモート管理機能
- 最新のBlu-rayデバイスにも対応
- エンタープライズレベルの高い信頼性、互換性

※1 Server Edition、Desktop Edition対応  
※2 VSS：Volume Shadow Copy Service

C

# PineApp Mail-SeCure シリーズ

スパムメールやフィッシングメール、ウイルスメールといった迷惑メールを排除し、業務と企業資産をしっかりとガード。



## 特長

- 10種類のアンチスパムフィルタリングを搭載
- 3種類のアンチウイルスエンジンを搭載
- 送受信メール、両方のウイルスチェックを実施
- HA構成によるロードバランス機能
- 高度なポリシー管理を実現



効果的・効率的な  
ISMS構築・運用・  
維持支援ツール

ISMS適合性評価制度  
情報セキュリティ監査制度  
ISO/IEC 27001・JIS Q 2700  
ISO/IEC 17799・JIS Q 2700

対応



M@gicPolicy CoSMOは、組織の情報セキュリティマネジメントシステムを構築し、計画 (Plan)、実行 (Do)、点検 (Check)、処置 (Act) に則ったマネジメントサイクルを経営陣・セキュリティ委員・従業員と共に継続的に運用し、管理するための情報セキュリティマネジメントシステム構築・運用・維持支援ツールです。

M@gicPolicy CoSMOを利用することによって、マネジメントリスクの観点からシステム障害・不正アクセス・個人情報漏洩などの情報セキュリティに関する事件・事故によるリスクから企業を守ります。



(Corporate Security Management Operator)

# STOCK INFORMATION

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 136,800株

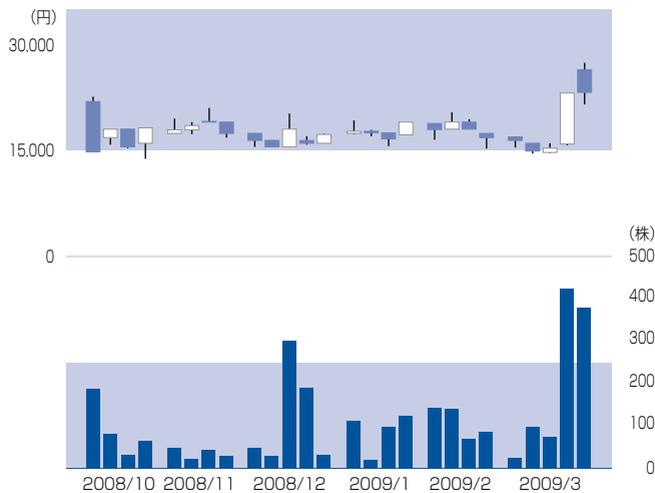
発行済株式総数 ..... 39,485株

株主数 ..... 2,779名

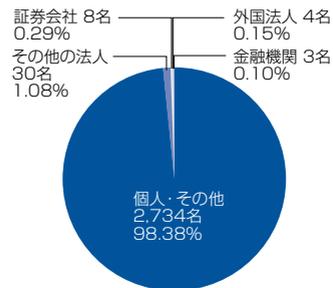
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
杉本隆洋	20,974	53.12
みずほキャピタル株式会社	1,610	4.07
株式会社オービックビジネスコンサルタント	636	1.61
山内健至	412	1.04
和田成史	315	0.79
櫻山徳次	207	0.52
吉田勝義	180	0.45
鍛冶邦充	150	0.37
株式会社みずほ銀行	150	0.37
日本証券金融株式会社	142	0.35

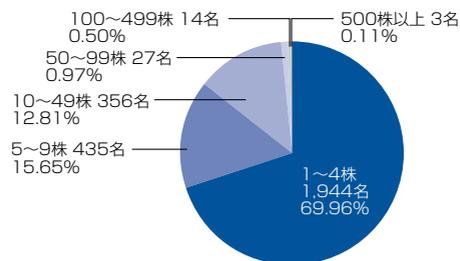
株価チャート (週足)



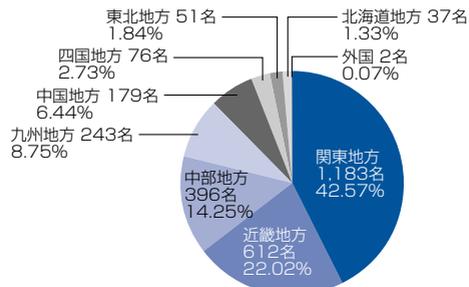
所有者別株主分布状況



所有数別株式分布状況



地域別株主分布状況



# CORPORATE DATA

会社概要 (平成21年3月31日現在)



商号 株式会社アズエージェント  
英文名 Asgent, Inc.

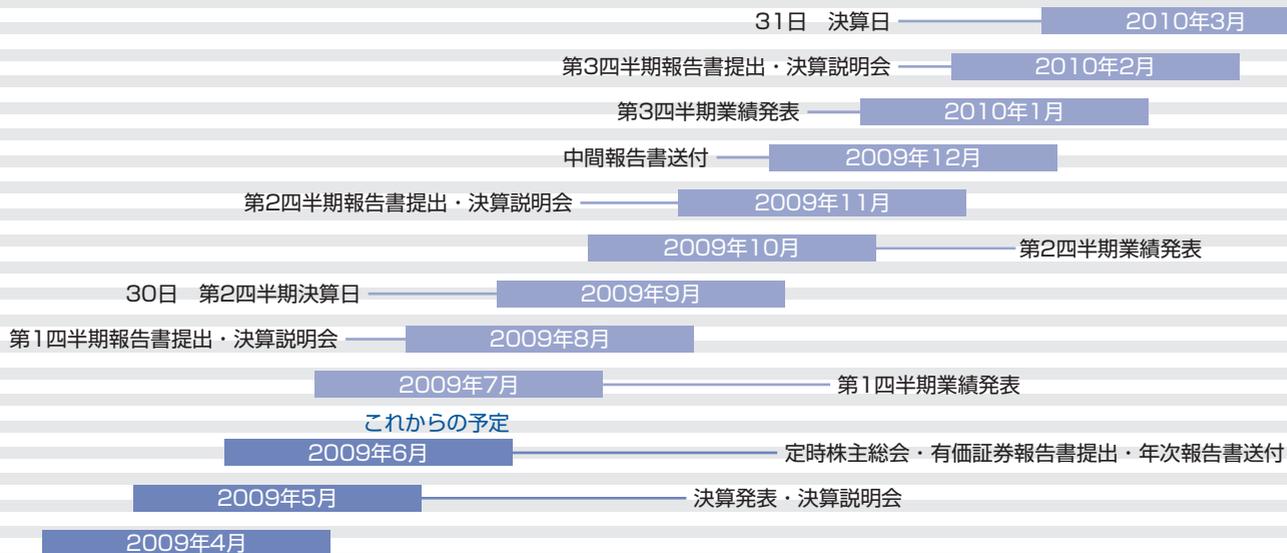
役員

住所 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町19-7  
設立 平成9年11月10日  
資本金 7億6,950万円  
従業員数 79名  
事業内容 ネットワークセキュリティ関連商品の輸入販売  
及び保守、各種セキュリティ関連サービスの提供並びにセキュリティ・ポリシー策定・運用支援コンサルティングやトレーニングの開催等

代表取締役社長 杉本 隆洋  
取締役 駒瀬 彰彦  
取締役 花澤 和美  
常勤監査役 佐藤 恒夫  
監査役 宮野尾 幸裕  
監査役 鈴木 一郎

## IR CALENDAR

IR・株式カレンダー



## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	
剰余金の配当	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル共通)
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 〈電子公告掲載URL〉 <a href="http://www.asgent.co.jp/">http://www.asgent.co.jp/</a>



## Asgent 株式会社 アズジェント

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 19 -7  
19 -7 Nihonbashi-Koamicho Chuo-ku, Tokyo 103-0016 Japan  
Phone:03-5643-2581  
URL:<http://www.asgent.co.jp/>